

平成27年
6月定例会

一般会計補正予算(第1号)等の議案を可決

平成27年第6回(6月)定例会は、去る6月8日から6月22日までの15日間の会期で開かれました。

今回の定例会では、「石垣市家畜等処理センター条例の一部を改正する条例」等の条例議案4件、「平成27年度石垣市一般会計補正予算(第1号)」等の補正予算議案5件、追加議案として財産(高規格救急車)の取得、その他議案8件の計18件の案件が市長より提出され、それぞれ原案のとおり可決されました。

なお、本会議の議決にあたり、総務財政委員会には、「平成27年度石垣市一般会計補正予算(第1号)」等2件の議案を付託。経済民生委員会には、「石垣市介護保険条例の一部を改正する条例」等4件の議案を付託。建設土木委員会には、「平成27年度石垣市港湾事業特別会計補正予算(第1号)」等3件の議案が付託され、慎重審査の結果、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決定されました。

議員提出議案については、「地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書」、「拉致被害者等の早期帰国と拉致問題の真相解明を求める意見書」、「国立の大型プラネタリウム建設に関する要請決議」、「産業廃棄物の「木くず」処理費負担軽減策を求める要請決議」の4件の議案が提出され、それぞれ原案のとおり可決されました。

6月15日から6月18日の4日間の日程で行われた一般質問では、19人の議員が本市の諸課題について質すなど活発な議論が交わされました。

美崎町に防犯カメラ設置
平成27年度一般会計
補正予算(第1号)

可決(賛成多数)

6月定例会では、総務財政委員会(平良秀之委員長)に「平成27年度一般会計補正予算(第1号)」等2件の議案が付託され、慎重審査の結果、石垣市自治基本条例審議会設置条例については原案のとおり可決すべきものと決定され、本会議において委員長報告のとおり可決されました。

一般会計補正予算(第1号)については、体育協会の独立・法人化に向けた業務に、嘱託員を雇用する予算の計上の仕方では賛否が分かれ、予算減額する修正案が提出されましたが、賛成少数により否決され、原案のとおり可決すべきものと決定されました。また、本会議においても起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定されました。

今回の一般会計補正予算は、既決予算の総額に歳入歳出それぞれ99万2千円を追加し、予算の総額を260億6859万2千円と定

めるものです。

その主な歳出の内訳としては、美崎町に防犯カメラを設置する「安心・安全なまちづくり推進整備事業」220万円、白保海岸にトイレ・東屋を整備する「環境共生型観光地づくり支援事業」670万円、教育費で図書館補修工事費に608万円などが計上されております。

また、経済民生委員会(大石行英委員長)及び建設土木委員会(砥板芳行委員長)においてもそれぞれ特別会計補正予算等が付託され、慎重審査の結果、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決定され、本会議において委員長報告のとおり可決されました。

石垣市種苗供給施設条例

可決

種苗供給施設条例は、これまで使用料を徴収せずに管理してきた同施設を、運営費及び維持管理費等に関して適正な管理運営を図ることを目的に、使用の許可、使用料の納付、管理義務や禁止行為等を定めるものです。今回の条例制定で、市当局は施設の管理運営について安全かつ適切に実施す

るとともに、より一層の利活用が求められます。



適切な管理運用とこれまで以上の利活用が求められる種苗供給施設(八島町)

新庁舎建設に関する
調査特別委員会
審査中間報告

今回の報告では、昨年度の和歌山県海南市での視察内容やこれまでの調査概要を報告した後、市当局には市民へ十分な情報の提供、基本計画策定委員会においては位置決定の前に本特別委員会との意見交換の実施を求め、今後も議論の進捗状況を調査していくとの報告がなされました。

人権擁護委員の
候補者を推薦

今定例会において、人権擁護委員候補者として次の方の推薦が承認されました。

南 苗子氏